

校内選考の仕組み

校内選考…生徒が①指定校推薦、②付属特別選抜(豊山枠)を用いて進学を希望する際に実施されるもので、会議で推薦される人物(生徒)の選考を実施します。

①指定校推薦とは、主に各他大学から豊山高校に与えられる推薦枠を使った推薦のことです。同様に、②付属特別選抜(豊山枠)とは、日本大学の各学部から豊山高校に与えられる推薦枠を使った推薦のことです。これらの推薦枠数は年度ごとで変動することが多々あります。特に①指定校推薦において、今年度は推薦枠がない大学でも、来年度には推薦枠がある可能性もあります。また、その逆もあります。そして、①と②のどちらも希望する生徒が「推薦要件」を満たしていなければ、校内選考に参加することができません。推薦要件は下記のような例があります。

| | | |
|------|-----|---------------------|
| 〇〇大学 | A学科 | 評定平均値4.0以上 |
| | B学科 | 評定平均値3.8以上、かつ英検2級以上 |
| | C学科 | 英語の評定平均4.2以上 |

①と②どちらの推薦も例のような「推薦要件」を満たした場合のみ、校内選考に申請・参加することが可能となります。では、「推薦要件」を満たした生徒が推薦人数枠数より多い場合にはどうするのでしょうか。そのとき、生徒個々の「総合序列」から上位の者を選考していきます。「総合序列」とは、全付属対象の基礎学力到達度テストや豊山独自の錬成テストの順位を基にし、これに生活面等の学校生活における人物像を加味した順位の事です。つまり、「推薦要件」を満たして校内選考に参加し、たとえ成績優秀であっても、「遅刻が多い」等があれば、「総合序列」に影響を及ぼすということです。

では、実際に校内選考の例を見てみましょう。推薦枠数は各学科で1名という形でシュミレーションしましょう。

| | 第1志望 | 第2志望 | 第3志望 |
|--------|------|------|------|
| 序列1位A君 | α学科 | β学科 | — |
| 序列2位B君 | α学科 | β学科 | γ学科 |
| 序列3位C君 | β学科 | α学科 | γ学科 |
| 序列4位D君 | γ学科 | δ学科 | ε学科 |
| 序列5位E君 | α学科 | β学科 | γ学科 |

上記の5名は全員「推薦要件」を満たしている生徒で考えています。この場合、各生徒は校内選考通過によって色のついた学科に出願することができることになります。注目するのが、各生徒の第1志望順に見ていくのではなく、序列の高い生徒の第1志望から第3志望を優先していくということです。これは、C君を見れば明らかですね。C君の第1志望はβ学科になっていますが、序列2位のB君が第2志望でβ学科を希望しています。序列が高いのはB君ですから、先にB君が校内選考によりβ学科の出願の権利を持つということになります。そのためC君は第1志望にβ学科を、第2志望はα学科を希望しましたが、第3志望のγ学科の出願資格を得ることになります。因みにE君は校内選考で不通過ということになります。

そして、もう1点注意してほしいことがあります。「推薦要件」にあった「評定平均値」についてです。この「評定平均値」とは、高校1年次から高校3年次までの各科目の評定の平均値となります。つまり、高校1年次からの評定が含まれる、ということです。高1は、テストの科目数も非常に多く、良い評定を取るのが大変だと思いますが、1年次から良い評定を得ておくことをお勧めします。



進路講演会

6月18日(水)・25日(水)の4時間目に、駿台予備学校池袋校の小久保治香様・小粥圭悟様を講師にお招きして、特進クラスの1・2年生を対象に「大学入試ファーストステップ」と題した進路講演会を実施しました。18日(水)は高2に向けて、25日(水)は高1に向けての講演会をそれぞれ行い、最新の大学入試情報や受験に向けた心構えに関するアドバイスなど、駿台予備学校に通っている生徒の事例を交えながら、多くの貴重なお話をいただきました。高1は学校の授業や課題に追われる日々の中で、まだ、塾や予備校に通ったことがなく、入試情報以外にも、予備校はどのように受験生をサポートしてくれているのかを知ることができました。

高2の今この時期に受験勉強を始めることで現役合格の確率が格段に上がることや、基礎・基本をおろそかにしてはいけないこと、苦手科目には帰宅後一番に取り組むことなど、実践的なアドバイスも多くいただくことができました。生徒も、資料を見ながら多くのメモを取り大変熱心に聞いており、関心の高さがうかがえる講演会となりました。定期テストまであと1週間を切りましたが、定期テストが終わってからの長い夏休みをどう過ごすべきか、今のうちによく計画を立て悔いのない夏休みを過ごしてもらいたいと思います。



特進他大学説明会 報告

6月20日(金)5校時から7校時に特進他大学説明会を実施しました。今回、豊山に来校してくださった学校は以下の通りです。

上智・明治・立教・中央・法政・東京理科・
神田外語・北里・明治薬科・東京薬科・東京農業・
日本獣医生命科学・日本医療科学・麻布・
防衛大・防衛医科大・日本外国語専門



内容については、大学の概要から入試制度まで多岐に渡っていました。パンフレットには載っていない大学の様子や考え方も聞くことができました。また、7校時には多くの進学クラスの生徒が参加しました。

生徒の聴講する態度については、今年度も各大学の担当者からお褒めの言葉をいただきました。メモを取りながら聞いたり、自分から質問したりなど、積極的な姿勢が評価されたようです。また、聴講人数の少ない教室では、ほぼ個別相談のように対応していただきました。

今回の説明会をオープンキャンパスへの参加や、様々な入試制度の利用の検討など、自分の進路についてしっかりと考える機会にしましょう。また、当日の配布資料の残部を自習室前に置いておきましたので、自由に手に取ってみてください。

日大付属推薦・指定校推薦

日大付属推薦は大きく3つに分けられます。

① 付属特別選抜(豊山枠・付属枠)、② 基礎学力選抜、③ 国公立併願方式です。

① その1 付属特別選抜(豊山枠)

総合序列や評定・資格を基にして校内選考を実施します。詳細は前ページにある『校内選考の仕組み』を参照してください。校内選考通過後は、出願に必要な書類を提出した後、学部学科の指定する選考(面接・小論文・口頭試問等)を受けます。

① その2 付属特別選抜(付属枠)

評定・資格を基にします。こちらは校内選考を実施せずに行われます。付属生全体の中で数名が募集され、実施している学部学科も限定されます。出願した者は学部学科の指定する選考(面接・小論文・口頭試問・実技等)を受けます。基礎学力選抜のセレクションや付属特別選抜(豊山枠)の校内選考の後に付属全体で実施されます。

② 基礎学力選抜

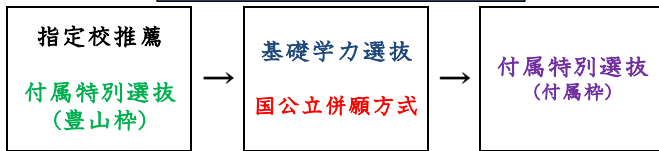
基礎学力到達度テストによる順位を基にします。高2の4月・高3の4月・高3の9月の合計3回のテストの標準化得点によって付属生内での順位が確定し、その順位を把握した上で、第1志望から第3志望までセレクションに出すことができます。

③ 国公立併願方式

基礎学力到達度テストによる順位や評定・履修科目を基にします。セレクションが一度だけ実施され、第1志望から第3志望までエントリーできます。国公立大学の一般選抜を受験予定の生徒が対象です。

以上が、日本大学への付属推薦における概要です。他にも追加募集がありますが、年度によって実施の有無が分かれますので記載していません。

実施の順番(簡略版)



続いて、指定校推薦について説明します。

指定校推薦とは、大学が本校を指定して、個別に推薦枠を設けている推薦方式です。実際に本校から進学した生徒の大学内での成績等が良好である場合や進学者や合格者の人数が多い場合などにより、本校が指定校推薦の対象となります。毎年、募集人数や推薦条件等が変更されます。

指定校推薦の募集枠は、おおむね1つの学科あたり1~2名ほどです。そのため、募集条件に合致していても、募集枠以上の応募がある場合は校内選考をする必要があります。詳細は前ページにある『校内選考の仕組み』を参照してください。校内選考通過後は必要書類を提出(出願)した後、学部学科の指定する選考(面接・小論文・基礎学力検査・口頭試問等)を受けます。その後、合格をいただけたら必ず進学をしなければいけません。

指定校推薦の注意点

① 指定校推薦だけを狙わない → やりたい分野を見つける

まず自分の学びたいことをはっきりさせましょう。そのうえで志望校(学部・学科)を決めることが肝要です。自分の学びたいことに合致する学部・学科を調べましょう。指定校推薦の大学・学部・学科は毎年変わります。指定校推薦にこだわりすぎて、自分の学びたいことを変更することがないようにしましょう。高3になって、第1志望の大学・学部・学科が指定校推薦で受験できるなら校内選考に申し込むという心構えが良いでしょう。

② 資格・履修・条件に注意 → 英検等の検定も受験しよう

評定だけでなく、英語の資格が必要となる学部や共通テストを受験することが条件となっている学部がある等、大学・学部・学科によって出願条件は様々です。

文理学部体験授業

6月15日(日)に、日本大学文理学部にて「体験授業」が行われました。この体験授業は、日本大学の付属高校生を対象に行われ、それぞれが希望した30分×3学科の講義を聴きました。

今回は高1 6名、高2 10名、高3 20名の計36名が参加し、同時に開催された保護者説明会には豊山高校から300名を超える保護者の方々が参加しました。

体験授業に参加したことで「興味深い内容でもっと詳しく学びたい」と進路が定まった生徒がいる一方、「自分が勉強したいのはこの学科ではなかった」ということを知る事ができた生徒もあり、どちらの生徒にとっても有意義な時間を過ごす事ができたようです。

文理学部は新宿から約20分の好立地でありながら、新しい校舎が立ち並ぶ緑豊かでとても美しいキャンパスです。通っている学生には文系も理系も体育会系もいて、部活動・サークルやイベントなどで一緒に活動する際に様々な刺激を受けることができます。興味がわいてきた人はぜひオープンキャンパスに参加してみてください。



7月の進路行事

- 7月14日(月) 社会人セミナー (高2)
- 7月17日(木) 日本大学学部説明会 (高2・3希望者)

※高3は夏季面談を実施します。(高1・2は任意)
 ※この夏休みはオープンキャンパスに足を運ぶ貴重な機会です。積極的に4~5つの大学に行くようにしましょう!

| | |
|----|--|
| 月 | |
| 日 | |
| 日直 | |

7月14日(月)の高2対象社会人セミナーは、対面式で行います。今回は講師の方々から皆さんの話を聴く姿勢について高評価をいただいています。今回、文系理系や職業の幅を持たせていますので、新しい発見や気づきがあることを期待しています。聴講できる講義は一度きりですので、事前に質問を考えておくなどして、積極的な姿勢で受けてください。

7月17日(木)の高2全員と、高3の希望者対象日大文理学部説明会は、オンライン形式で行われ、生徒は自宅からZoomを利用して参加することになります。付属高校向けの説明会になりますので、他では聞けない内容になります。Zoomは事前に氏名の表示や顔出しのルールを確認してください。学部によって内容は大きく異なりますので、しっかりとメモを取り、必要なことは質問をするようにしましょう。

近年高3受験時に、日大付属推薦と並行して日大の総合型選抜に挑戦する生徒が増えています。付属生にとっては第1志望とする日大の学部・学科に2回挑戦できることになり、メリットと言えるでしょう。一方で、総合型選抜はこれまでの長期的な取り組みと入学後のビジョンが問われることから、受験準備に膨大な時間を取られます。また、日大の総合型選抜と日大付属推薦を併願する場合には、付属推薦においては総合型選抜で出願している学部にはしか出願できませんので注意をしましょう。総合型選抜を考えている生徒は、早めに担任に相談することをお勧めします。

次回8・9月号は、7月18日(金)発行予定です